



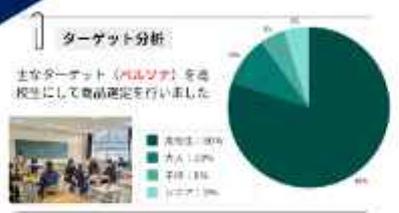
# 夢現 2026.1.21 プロジェクト

こんな探究活動に取り組みました！

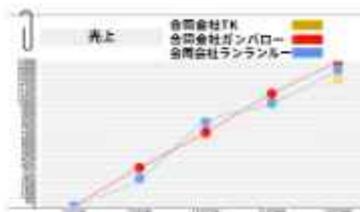
## 勝山高校の探究活動 勝高 Voice 第6号

**Schedule**

- 3月下旬 オンラインミーティング
- 4月上旬 京都大学とオンラインミーティング
- 4月中旬 京都大学とオンラインミーティング
- 5月上旬 オンラインミーティング
- 5月中旬 オンラインミーティング
- 5月下旬 オンラインミーティング



はじめに、「購入方法が分かりにくい」という声を取り入れ、ポプラさんの協力のもと、PayPayで簡単に購入できるようにしました。また、「ペルソナ」という具体的な顧客像を自分たちで設定することで、商品選定やマーケティングをより明確にすることができました。例えば「部活終わりの高校生」や「受験勉強中の高校生」など、それぞれのペルソナにあった商品を選んだり、ポップを作成したりしました。他にも、より高校生に知ってもらうためにCMを作成して勝山高校のInstagramに載せたり、友達に宣伝したりしながら運営を進めていきました。



本日の1店舗の概要

- ペルソナを明確にした商品選定・売り場づくり
- SMS・駅モニターを活用したPR
- 月間売上2万円以上を達成
- 業界で最早の無人スマートストアへ

### 桂 光里 2年 大佐中出身

私達は中国勝山駅の利用者を増やす為このプロジェクトを始めました。スマートストアは駅構内の無人販売所です。今回は高校生をターゲットにし、「1ヶ月で2万円を売り上げる」という目標のために試行錯誤を重ねました。

|   |  |
|---|--|
| <p>解決策</p> <p>高校生が「買ってみたい」と思う場所へ</p> <p>スマホ決済アプリPayPay<br/>購入をアプリからPayPayにし、さらに決済カード化</p> | <p>解決策</p> <p>高校生が「買ってみたい」と思う場所へ</p> <p>商品の選定<br/>高校生をターゲットにした商品選定を入れる</p> |
| <p>解決策</p> <p>高校生が「買ってみたい」と思う場所へ</p> <p>駅構内無店舗販売<br/>買付ったことを活かして商<br/>場におくよう安心の存在</p>     | <p>解決策</p> <p>高校生が「買ってみたい」と思う場所へ</p> <p>CMの作成や、駅道の<br/>Instagramを運用</p>    |

## テーマ スマートストアの 売上目標2万円を超えるまで

そして無事に目標を達成することができました。ターゲットの立場に立って考えマーケティングを進めたり、お店の構造や動線を理解しながら商品を発注・配置したり、高校生が体験できないようなことができとてもいい経験になりました。勝山高校生にとってスマートストアが必要不可欠な存在になってほしいと思います。

勝山高校では、年間を通して多くの生徒がボランティア活動に参加しています。今回の記事では3名の勝高生に今年度参加したボランティアについて報告してもらいます。

### 江崎 菜々子 1年 落合中出身

私は、ひしお喫茶でメニューの考案や広報活動に協力するボランティアに取り組みました。食品関係の仕事に興味があり、メニューを考えることに関心があったことが参加のきっかけです。

活動では試食会を行い、どのメニューにするかを話し合いました。ただ決めて完成にするのではなく、口当たりを考えながら材料の大きさを工夫するなどして改良し、名前や価格、ポスターまで考えながら、より良いメニューになるように工夫を重ねました。

話し合いでは、年代によって意見が分かれ、味の感じ方が違うことを実感しました。この経験から、食品を考える際には流行や食べる人の年齢を考慮することが大切だと学びました。



### 桐原 瑠衣 2年 蕨山中出身

私は、檜呂小学校運動会のボランティアに参加しました。入場行進や競技の補助を通して運動会の運営に関わりました。

特に印象に残ったのは、小学生だけでなく、先生や地域の方々も一緒になって運動会を支えていたことです。地域全体で子供たちを見守り、行事を盛り上げようとするあたたかい雰囲気を感じました。

この活動を通して、学校を運営することや子供たちがのびのびと過ごす環境は、地域の方々の協力があってこそ成り立っていることを実感しました。また、周囲をよく見て先を考えて行動する先生方の姿から、自分も周りを見て、早めの行動を心がけたいと思いました。

### 沼 祐玖 3年 鏡野中出身

私は、久世公民館サマースクールのボランティアに、2年次から継続して参加しました。地域の小学5・6年生を対象に、久世地域の良いところを探す「お宝マップづくり」の授業を行いました。

私たちは教員役として発表のモデルを示しましたが、子供たちは一人ひとり発表の方法が異なり、表現力には大きな違いがあることが印象に残りました。こうした違いを感じたことで、子供たちが活動の中で何を指すのかをはっきり示す必要があると考えました。

この経験から、目標を小さな段落に分けて設定し、活動後に振り返りを行うことの大切さを学びました。これらの学びは、自身の進路を考える際にも役立ち、志望理由書の作成や面接に生かすことができました。



### 3学期行事のご案内

3.1 (日) 卒業証書授与式

3.10-3.11 一般入試

3.26 (木) 新入生登校日



岡山県立  
勝山高等学校

岡山県真庭市勝山481  
TEL 0867-44-2628

